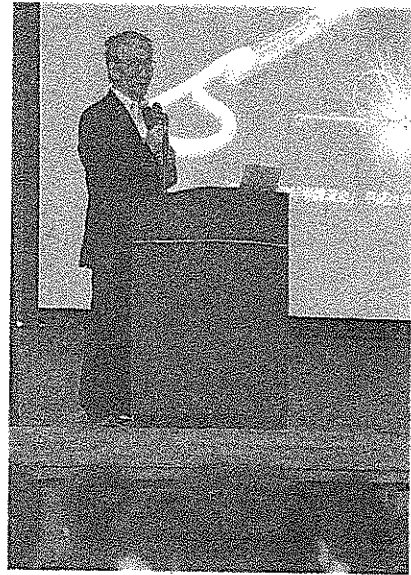




宇宙創成の起源に迫る研究
を説明する鈴木厚人学長

宇宙の謎に深まる興味

盛岡一高で
講演会



盛岡

鈴木厚人県立大学長による国際リニアコライダー(ILC)の講演会は2日、盛岡市上田の盛岡一高(川上圭一校長、生徒840人)で開かれ、宇宙創成や素粒子の謎に迫る研究の魅力を伝えた。

1、2年生約560人が総合的な学習の一環で聴講。鈴木学長は加速器について「大変な装置だと思っが、電子レンジやブラウン管テレビも加速器」と身近な例を説明。研究で使うエネルギーの大きさについては「スイス・ジュネーブにある」欧州合同原子核研究所(CERN)セルンの加速器のエネルギーを乾電池でつくるには、太陽から火星まで乾電池を並べない

とこのエネルギーが出ない」と語った。

2年渡辺夏七子さんは「ILCは宇宙の始まりを調べる施設。誰も知らない世界を調べられるのはわくわくする」と好奇心を膨らませた。